第３章　後期基本計画

第１節　計画期間

　第２次安曇野市総合計画 後期基本計画の計画期間は令和５（2023）年度から令和９（2027）年度ま

での５年間とします。

第２節　目標人口

　平成27（2015）年に策定し、その後令和２（2020）年に改訂した「安曇野市人口ビジョン」では、

将来にわたって持続するまちを実現するため、令和７（2025）年度から令和27（2045）年度までの目

標人口を５年間隔で設定しました。

　また、人口減少を和らげつつ、人口減少に適応した地域をつくっていくために安曇野市人口ビジョン

の改訂と同年に策定した「第２期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、令和22（2040）年

度 85,000人を目標人口としています。

　この目標人口は、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計に準拠した推計（社人研推計準拠）を基準とし、合計特殊出生率の向上や子育て世帯の移住受入拡大により人口減少を抑制することが前提条件となっており、本市では「第２期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、出産・子育て支援や新たな雇用の創出、移住定住の促進、関係人口拡大などの施策・事業を展開してきました。

　令和２（2020）年度の人口は94,222人となっており、社人研推計準拠を大きく上回っています。また、同年度の目標人口の設定はありませんが、令和７（2025）年度以降の目標人口を達成するためのペースを800人程度上回っています。

　このことを踏まえ、令和２（2020）年度の人口および人口ビジョンに示された目標人口達成のための合計特殊出生率・子育て世帯の移住受入に関する前提条件から改めて将来の人口を推計し、この結果をもとに、人口ビジョンで定めた目標人口を上方修正したものとして、新たに令和22（2040）年度の目標人口を86,000人と設定します。

25ページ

目標人口を達成するためには、合計特殊出生率の向上による自然増減数のマイナス幅の抑制や、子育て世帯の移住受入拡大による社会増減の改善が必要です。

自然増減については、令和５（2023）年度から令和７（2025）年度にかけては、自然増減を年間−582人に抑制することを目標とします。また、令和８（2026）年度から令和12（2030）年度では、年間−681人を目標とします。

社会増減については、令和５（2023）年度から令和７（2025）年度にかけては、年間233人の社会増を目標とします。また、令和８（2026）年度から令和12（2030）年度では、年間263人の社会増を目標とします。

26ページ

第３節 施策の体系図

将来ビジョン

自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野

価値創出プロジェクト

誰もが活躍する共生のまち

選ばれ続けるまち、安曇野

ＡＺＵＭＩＮＯブランドの発信

文化・芸術中核都市の実現

アウトドア・スポーツの聖地

目標

１ いきいきと健康に暮らせるまち

施策

１ 健康づくりの推進

２ 保健衛生の充実

３ 地域福祉の推進

４ 高齢者福祉の充実

５ 障がい者福祉の充実

６ 生活の安定と自立への支援

７ 結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

８ 子どもを育む環境の充実

９ 質の高い保育・幼児教育の実現

目標２　魅力ある産業を維持・創造するまち

施策

１ 担い手の確保と農地の有効利用

２ 生産振興と販売力の強化

３ 森林の保全と資源の活用促進

４ 商工業の振興

５ 市内事業者の経営強化

６ 多様な働き方への支援

７ 地域独自の観光資源の活用

８ 戦略的な観光プロモーション

９ アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

目標３　安全で安心に暮らせるまち

施策

１ 防災・減災対策の推進

２ 地域の防災活動の強化

３ 砂防・治水事業の推進

４ 防犯・交通安全の推進

５ 消費者保護の推進

目標４　自然と暮らしやすさが調和するまち

施策

１ 自然環境の保全

２ 循環型社会の実現

３ 脱炭素社会の実現

４ 自然と発展が織りなすまちづくり

５ 暮らしと調和する景観の保全

６ 道路整備の推進

７ 上下水道の安定経営

８ 持続可能な公共交通の形成

９ 良質な住環境の整備

10 移住・定住の推進

11 空き家対策の推進

目標５　学び合い 人と文化を育むまち

施策

１ 学校教育の充実

２ 家庭・地域との連携の推進

３ 生涯を通じた学びの創出

４ スポーツを楽しむ環境の充実

５ 文化・芸術活動の推進

６ 歴史・文化遺産の継承

目標６　みんなでともにつくるまち

施策

１ 協働によるまちづくり

２ 共生社会の実現

３ 交流活動の推進

４ デジタル技術を活用した行政変革

５ 市民の視点に立った行財政運営

27ページ

第４節 価値創出プロジェクト

　人口減少・少子高齢化が進む中、本市が持続的に発展していくためには、地域の魅力や強みを生かした施策展開を図り、地域の魅力や産業の競争力を高めていくことが重要です。

　後期基本計画の策定にあたり、市民を対象としたアンケートやヒアリングを実施した結果、多くの市民が自然環境やブランド力・知名度を本市の強みとして捉えていることがわかりました。

　また、安曇野は自然を生かしたアウトドア・スポーツ環境に恵まれていることや、県内有数の博物館・美術館の集積地として市民の芸術・文化活動が活発な地域であるなど、多くの魅力を有しています

が、安曇野を代表する価値として十分に認識されているとはいえないこともわかりました。

　そこで、後期基本計画では、安曇野の新たな魅力や価値を創出するとともに、既に存在する数多くの魅力を高め、市内外の方に価値として認識してもらうため、「価値創出プロジェクト」を設定します。

　このプロジェクトは、後期基本計画の中で重点的、施策横断的に取り組むものであり、具体的な事業は実施計画により推進していきます。なお、前期基本計画で力を入れて優先的に取り組む施策として設定していた「重点施策」に代わるものになります。

価値創出プロジェクト

誰もが活躍する共生のまち

・年齢、性別（性自認・性的指向）、国籍や障がいの有無などの多様性を尊重します。

・様々な人の活躍を促すことで、まちにさらなる活気を生み出します。

選ばれ続けるまち、安曇野

・子育て世帯や移住者にとって魅力ある生活環境・就労環境を整備します。

・人口減少対策を講じるとともに、人口減少に適応した地域をつくります。

AZUMINOブランドの発信

・安曇野市の魅力・価値を戦略的に国内外に向けて発信します。

・安曇野市での体験で得られる付加価値を創出します。

文化・芸術中核都市の実現

・安曇野市の文化・芸術環境を活かした教育を推進します。

・文化・芸術活動を通じた交流人口を創出するとともに、市内での文化・芸術活動を活性化させます。

アウトドア・スポーツの聖地

・豊かな自然を生かしたアウトドア・スポーツ環境を整備し、安曇野を代表するコンテンツとしての確立を目指します。

・アウトドア・スポーツを通じた観光振興や交流活動の促進を図ります。

28ページ

　価値創出プロジェクトを推進するため、施策ごとに「価値創出プロジェクトに関連した取組」を設定しています。これらの取組を着実に進めることで、本市の価値創出を図ります。

　価値創出プロジェクトを推進するための主な取組は、以下の通りです。

誰もが活躍する共生のまち

価値創出プロジェクトを推進するための主な取組

施策１-８ 　子どもを育む環境の充実

　様々な特性を持ち、支援を必要とする子どもが増える中、全ての子どもが安心して成長できるよう療育の充実や子どもたちのための施設運営を支援します。

施策２-６ 　多様な働き方への支援

　結婚や子育てを機に離職した女性の再就職を関係機関とともに支援するとともに、デジタル分野への就業機会を創出します。

施策３-１ 　防災・減災対策の推進

　年齢や性別、障がいの有無、国籍など問わず誰もが安心して避難ができるよう、民間施設の活用をはじめとした避難所の拡充を図ります。

施策４-４ 　自然と発展が織りなすまちづくり

　誰もが暮らしやすさを感じることができるまちを目指し、まちづくりにユニバーサルデザインの導入を進めます。

施策５-６ 　歴史・文化遺産の継承

　博物館の展示や出前講座の内容などを工夫し、外国籍住民や子ども、障がい者などに配慮したものを目指します。

施策６-４ 　デジタル技術を活用した行政変革

　デジタル技術の利用にあたり、障壁となる情報格差の解消を図り、デジタル技術の恩恵を誰もが受けられる環境を目指します。

29ページ

選ばれ続けるまち、安曇野

価値創出プロジェクトを推進するための主な取組

施策１-９ 　質の高い保育・幼児教育の実現

　あづみの自然保育の情報の発信、ブランド化により若い世代の移住・定住を推進します。

施策２-１ 　担い手の確保と農地の有効利用

　移住者の就農や半農半Xなど多様な就農スタイルを支援するとともに、農地の保全と美しい田園風景の維持に取り組みます。

施策２-４ 　商工業の振興

　企業の積極的な誘致を行い、安曇野で働き、暮らす人を増やします。

施策４-１ 　自然環境の保全

　自然環境の保全を推進し、自然と暮らしが調和した住環境を守ることで、安曇野に住みたい、暮らし続けたいと思う人を増やします。

施策４-10 　移住・定住の推進

　市内高校生などに対し、安曇野の魅力を知り、愛着を深めてもらうためのシティプロモーションを行います。

30ページ

AZUMINOブランドの発信

価値創出プロジェクトを推進するための主な取組

施策２-２ 　生産振興と販売力の強化

　国内外への農産物のPRや販路拡大を推進し、安曇野産農産物のブランド化を図ります。

施策２-５ 　市内事業者の経営強化

　新規事業分野の開拓を支援し、国内、国際市場で活躍する企業の育成を推進します。

施策２-８ 　戦略的な観光プロモーション

　豊かな自然を活用したネイチャー・ツーリズムやアドベンチャートラベルを展開します。

施策２-９ 　アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

　安曇野が有するアウトドア・スポーツ環境を国内外に発信することで、アウトドア・スポーツを安曇野の新たな価値として位置づけます。

施策４-１ 　自然環境の保全

　多様な主体が水環境の保全や情報発信を行う「あづみの水結（みずゆい）」制度により、「名水百選」「水の郷百選」に認定された清らかな水が織りなす安曇野の原風景の魅力を発信します。

31ページ

文化・芸術中核都市の実現

価値創出プロジェクトを推進するための主な取組

施策５-１ 　学校教育の充実

　大学と連携した事業や専門家を招く能楽教室など、国内外で活躍する芸術家と市内の子どもが交流する機会を創出します。

施策５-５ 　文化・芸術活動の推進

　サテライトキャンパスの実現に向け、市外の大学生などを招くアーティスト・イン・レジデンスを実施します。

施策５-６ 　歴史・文化遺産の継承

　文化財相互の関係性を生かし、他分野との連携を図ることで、地域が持つ歴史や伝統文化の魅力を感じてもらう取組を推進します。

アウトドア・スポーツの聖地

価値創出プロジェクトを推進するための主な取組

施策２-８ 　戦略的な観光プロモーション

　サイクリングや登山などアウトドア・スポーツ環境を生かした観光客の誘致を推進します。

施策４-６ 　道路整備の推進

　自転車の走行空間を整備し、自転車が走行しやすいまちを整備します。

施策４-８ 　持続可能な公共交通の形成

　MaaS（複数の移動サービスをつなぎ、移動ニーズに応じて予約・決済などを一括で行うことができるサービス）の導入により、拠点となる施設への移動を円滑にさせ、シェアサイクルの活用を推進します。

施策４-10 　移住・定住の推進

　アウトドア・スポーツ環境を全面的に発信することで、安曇野市の魅力を伝えるきっかけとし、移住者の増加を図ります。